

ジャパン・ハウス(仮称)

平成26年12月
外務省

「戦略的対外発信の強化」の必要性の高まり

- ◆日本の「正しい姿」の発信
- ◆日本の多様な魅力の発信
- ◆親日派・知日派の育成

※骨太の方針(6月)

「真に日本の『正しい姿』や多様な魅力の発信に向けて、海外の広報文化拠点の創設を検討」

主要国において「オールジャパン」で発信する拠点が必要

「ジャパン・ハウス」(仮称)開設

開設候補地: ロンドン, ロサンゼルス, サンパウロ,
香港, イスタンブール, ジャカルタ
(※下線の三都市における来年度中の工事開始を
念頭に、関連の予算を要求中。)

- ◆①民間の「活力」、②日本ブランド(伝統と革新, 各分野の最先端技術)、③地方の魅力等を発信。
- ◆上記①～③により確保・拡大したターゲットに対し、④我が国の政策・国際貢献を紹介。
- ◆体験・交流の場を用意し、⑤対日理解の基盤を強化。

※現地のニーズを最大限反映し、かつ、民間／地方との効果的な連携を可能とする運営体制を追求。

※クールジャパン戦略との連携の他、個別事業を扱う各省との協力関係を構築。

※既存の施設がある場合は、当該施設との連携・協力を優先。

(例: 在外公館の敷地外に設置された広報文化センター(ワシントン等)、ジャパン・ソサエティ(ニューヨーク)等)